

令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果について

5月27日に実施されました「全国学力・学習状況調査」について、すでに全国や札幌市でのまとめが公表されていますが、本校の結果の分析と改善の方向についてまとめましたので、ご報告いたします。

1 学力調査の本校結果の概要と改善の方向について

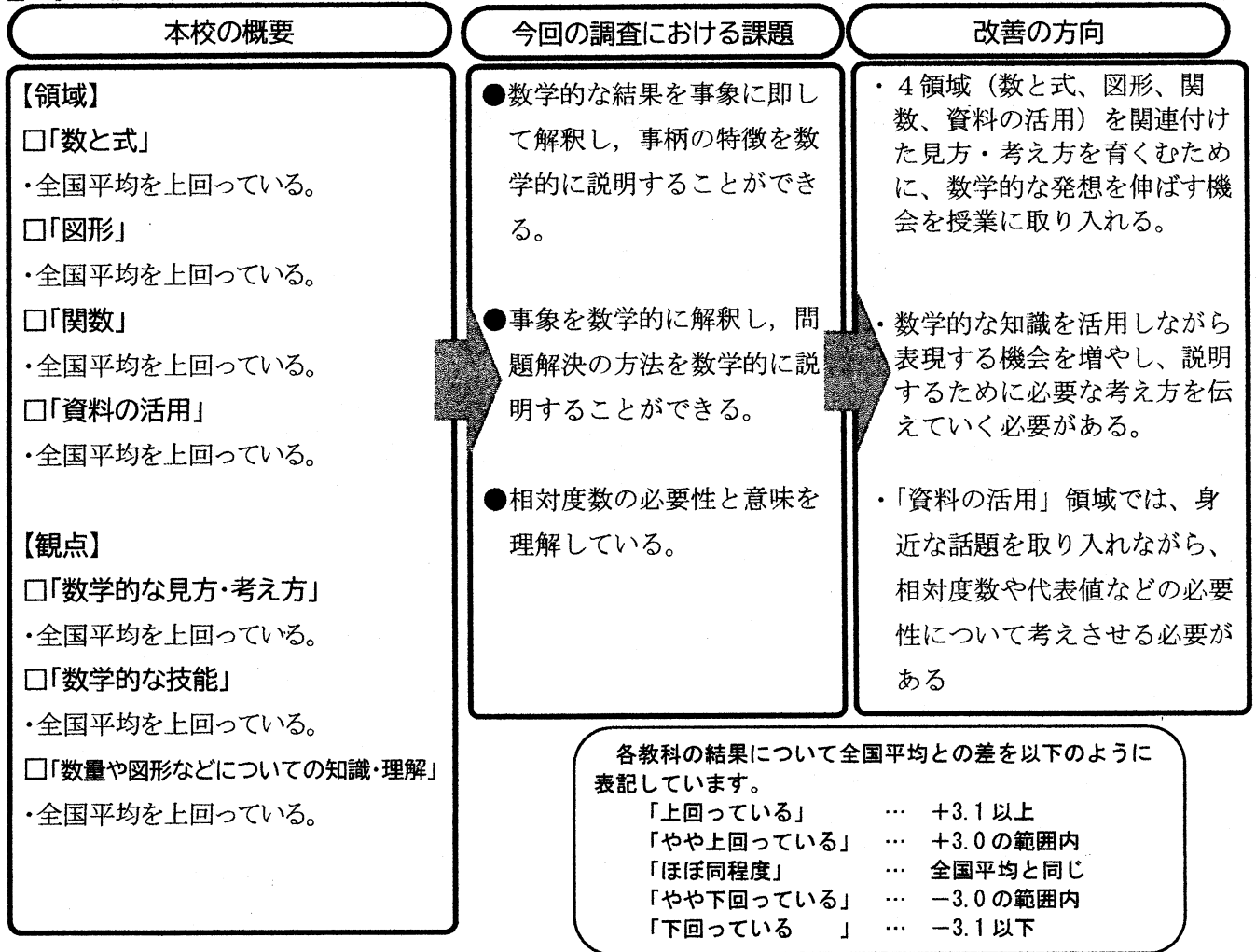
【中学校国語】 教科に関する調査の結果概要及び改善の方向性について

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
<p>【領域】</p> <p>□「話すこと・聞くこと」 ・全国平均を上回っている。</p> <p>□「書くこと」 ・全国平均を上回っている。</p> <p>□「読むこと」 ・全国平均を上回っている。</p> <p>□「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。</p> <p>【観点】</p> <p>□「関心・意欲・態度」 ・全国平均を上回っている。</p> <p>□「話す・聞く能力」 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。</p> <p>□「書く能力」 ・全国平均を上回っている。</p> <p>□「読む能力」 ・全国平均を上回っている。</p> <p>□「言語についての知識・理解・技能」 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。</p>	<ul style="list-style-type: none">●話し合いの話題や方向を捉える。●質問の意図を捉える ●書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して書く。 ●相手や場に応じて敬語を適切に使う。	<ul style="list-style-type: none">・話し合いは「話すこと」と「聞くこと」が交互に行われる言語活動である。授業でも理論のみならず具体的な活動を設定していく。また、教科だけでなく、特別活動の中での話し合いに応用する意識をもたせる。・文章を要約したり、自分の考えをまとめたりといった学習活動を意図的に設定していく。その際、互いの文章を読み合い、自分の表現に役立てていく活動を取り入れる。・敬語の基本は2年生で学習するが、実際の場面での言葉遣いを言語環境を整えるという側面からも意識させていく。

各教科の結果について全国平均との差を以下のように表記しています。

「上回っている」	…	+3.1以上
「やや上回っている」	…	+3.0の範囲内
「ほぼ同程度」	…	全国平均と同じ
「やや下回っている」	…	-3.0の範囲内
「下回っている」	…	-3.1以下

【中学校数学】 教科に関する調査の結果概要及び改善の方向性について



2 学習状況調査「生徒質問紙」の本校の結果の概要について

【全国平均より5ポイント以上上回った設問】「学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの勉強をしますか」という学習に関する意識と「今住んでいる地域の行事に参加している」や「地域や社会をよくするために何をすべきかを考える」等地域への関わりに関すること。「学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている」等の自治的活動に関すること。「学校に行くのは楽しい」「自分と違う意見について考えるのは楽しい」「自分には、よいところがある」というような自己肯定感につながる回答は全国平均を上回っています。

【全国平均より5ポイント以上下回った設問】「1, 2年生の授業での話し合い活動や工夫した発表、新しいものを創り出す」など1, 2年生の学習活動に関すること。そして、「将来の夢や目標を持っていますか」という自分自身の将来像については全国平均よりも低い結果となりました。

【その他顕著な回答について】2年前より教科として位置づけられた道徳科授業について「自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりしている」について肯定回答の割合が高くなりました。今年度導入された1人1台端末に関連して「学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思う」の肯定回答も高い割合でありICT活用授業への期待がうかがえます。一方、昨年度の新型コロナウイルス感染拡大防止措置に伴い「新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、勉強について不安を感じましたか」という設問について不安を感じていた回答の割合が全国平均よりも高い結果となりました。また、臨時休校中「学校からの課題で分からないことがあったとき、どのようにしていましたか」の設問に対しては大多数の生徒は「自分で調べる」と回答していました。今後、従来の授業形式に加えICT端末の活用が進むことで個に応じた学習支援を行い、生徒の意欲に応え将来の進路につなげたいと考えています。

今後も学校ホームページや学校だよりを通じて、学校の取組の様子をお知らせしていきます。